

「多用途支援艦ひうち」再び新潟へ！



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、8月31日（土）、9月1日（日）の両日、長岡市寺泊港において「多用途支援艦ひうち」の艦艇広報を行いました。

31日午前は長岡市寺泊支所主催による入港歓迎行事が行われ、長岡市長代理から歓迎の言葉の中に、「平成16年に発生した中越地震の際、自衛隊に大変お世話になりありがとうございました。」とあり、改めて被災時の自衛隊に対する感謝の気持ちが「ひうち」に贈られました。

午後からは、長岡市自衛隊協力会から提供された、戊辰戦争の際使用したレプリカの「四斤山砲（よんきんさんぽう）」による祝砲を皮切りに一般公開が開始されました。普段見られない艦橋などの見学に多くの市民らが訪れ、乗組員や艦長と一緒に記念撮影など至る所で賑わいを見せていました。



1日は一般公開のほか募集対象者を対象とした特別公開が行われ、参加者は多用途支援艦の概要説明や艦内及び艦橋などの見学を楽しんでいました。また、体験喫食では少し戸惑いながらも海上自衛隊特有の四角い銀色のトレイにご飯とカレー、サラダなどを自ら盛り付け、初めて艦内で食べる食事に笑顔が見られるなど、海上自衛隊の魅力堪能しました。



岸壁では2日間に渡り自衛隊活動のパネル展示、制服の試着コーナー、広報DVDの上映等の募集広報ブースを設置したほか、第2普通科連隊（連隊長 1陸佐 榎野道彦）による車両展示を行いました。普段見ることができない指揮通信車には多くの人が興味深々で集まるなど陸上自衛隊のPRも実施し、寺泊港への来場者は2日間で2008名と大変賑わいました。



新潟地本は、今後も様々な広報イベントを通じて自衛隊の活動をPRするとともに、募集広報基盤の拡充を図っていきます。